

平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 岡山製紙

コード番号 3892 URL <http://www.okayamaseishi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 広瀬 靖弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務経理部長

(氏名) 永井 健司

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日

TEL 086-262-1101

平成25年2月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	4,639	△1.5	331	△6.4	355	△7.1	216	58.2
24年5月期第2四半期	4,711	1.6	354	△12.6	383	△10.2	137	4.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	34.36	—
24年5月期第2四半期	19.64	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	10,672		7,222			67.7
24年5月期	10,280		6,877			66.9

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 7,222百万円 24年5月期 6,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年5月期	—	6.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	3.7	450	△24.0	500	△19.9	300	36.6	47.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	7,000,000 株	24年5月期	7,000,000 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	687,253 株	24年5月期	685,357 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	6,313,565 株	24年5月期2Q	6,980,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要の拡大や乗用車等の耐久財消費の堅調さは見られましたが、欧州債務危機の長期化等による海外経済の減速傾向に加え、今秋以降の日中関係の冷え込みやエコカー購入補助金の終了等に伴って、足踏み状態から悪化傾向が鮮明となりました。

板紙事業におきましては、需要は引き続き弱含みであり、厳しい環境で推移しています。

こうした状況のなか、当社は経営全般にわたるコスト低減に総力を結集する一方、需要に見合った生産レベルの維持と適正な製品価格の実現に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,639百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は331百万円(同6.4%減)、経常利益は355百万円(同7.1%減)、四半期純利益は216百万円(同58.2%増)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、製品価格が僅かに上昇したが、需要が軟調に推移したこともあって販売数量が減少したことにより、売上高は3,811百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、青果物関連品や医薬品関連品が増加しましたが、通信機器関連品が減少し、売上高は828百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は10,672百万円となり、前事業年度末に比べ392百万円増加しました。内訳は、流動資産が146百万円の増加、固定資産が245百万円の増加であります。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金330百万円の増加であります。また、固定資産増加の主な要因は、投資有価証券249百万円の増加であります。

負債は3,450百万円となり、前事業年度末に比べ48百万円増加しました。内訳は、流動負債が46百万円の減少、固定負債が94百万円の増加であります。

流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金238百万円の減少であります。また、固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債80百万円の増加であります。

純資産は7,222百万円となり、前事業年度末に比べ344百万円増加しました。主な要因としては利益剰余金179百万円の増加であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の66.9%から67.7%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、板紙需要が伸び悩むなか、原料古紙価格の低下傾向、これに伴う販売競争が激化しており、販売量の確保は引き続き厳しい状況となることが予想されます。

また加えて燃料価格の動向等不透明な要素が多いため、平成24年9月28日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,155,446	2,485,660
受取手形及び売掛金	3,378,567	3,293,285
商品及び製品	302,266	290,711
仕掛品	22,579	18,160
原材料及び貯蔵品	476,309	383,202
その他	176,407	186,849
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	6,509,577	6,655,868
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	714,515	696,508
構築物(純額)	141,755	143,800
機械及び装置(純額)	1,664,773	1,661,407
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	16,143	13,563
土地	178,452	194,549
リース資産(純額)	21,576	25,814
建設仮勘定	16,975	16,800
有形固定資産合計	2,754,190	2,752,442
無形固定資産	8,160	6,557
投資その他の資産		
投資有価証券	994,147	1,243,498
出資金	9,793	9,793
その他	4,423	4,423
投資その他の資産合計	1,008,363	1,257,714
固定資産合計	3,770,714	4,016,714
資産合計	10,280,292	10,672,583
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,938,364	1,699,926
未払金	301,393	345,762
未払費用	375,493	388,383
未払法人税等	47,174	152,668
その他	108,757	138,353
流動負債合計	2,771,183	2,725,095
固定負債		
繰延税金負債	77,124	157,590
退職給付引当金	421,416	425,056
役員退職慰労引当金	117,906	125,060
その他	14,831	17,680
固定負債合計	631,279	725,387
負債合計	3,402,462	3,450,482

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	734,950	734,950
利益剰余金	5,099,709	5,278,727
自己株式	△209,195	△209,782
株主資本合計	6,446,534	6,624,964
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	431,294	597,135
評価・換算差額等合計	431,294	597,135
純資産合計	6,877,829	7,222,100
負債純資産合計	10,280,292	10,672,583

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	4,711,406	4,639,458
売上原価	3,695,084	3,667,804
売上総利益	1,016,321	971,653
販売費及び一般管理費	662,173	640,115
営業利益	354,148	331,537
営業外収益		
受取利息	36	32
受取配当金	22,232	23,316
受取保険金	6,113	384
その他	2,522	2,713
営業外収益合計	30,905	26,447
営業外費用		
売上割引	1,738	2,077
その他	9	5
営業外費用合計	1,747	2,082
経常利益	383,305	355,901
特別利益		
固定資産売却益	110	—
特別利益合計	110	—
特別損失		
固定資産除却損	1,753	—
投資有価証券評価損	87,270	—
特別損失合計	89,024	—
税引前四半期純利益	294,392	355,901
法人税、住民税及び事業税	124,540	148,714
法人税等調整額	32,785	△9,718
法人税等合計	157,326	138,995
四半期純利益	137,065	216,905

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。